

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立橋北小学校

校長 長谷 由香

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域とともにある学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともに子どもを支える学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 教育活動の実践事例**

①地域の教育力を生かした特色ある教育活動

(学習ボランティアによる学習支援)

今年度は、地域の学習ボランティアの方を学校に招いての教育活動を進めることが困難で、昨年度のような実践を進めることができなかった。そんな中でも、できる範囲で可能な限りの支援を得ることができました。

「図書ボランティア」の方には、図書館の掲示物の作成（壁飾り）や館内の整理整頓、そして、子どもたちの読書活動に対してのプレゼント（しおり）づくり等に取り組んでいただきました。毎月の季節に合った掲示物は、子どもたちの図書館に対する思いを深めることとなり、より一層、読書への関心が高まることにもつながりました。

地域と連携して行う防災学習では、PTAの皆さんや地域の方々に講師となっていただき、防災に関する様々な学習や体験の支援をしていただきました。この学習では、防災に関する知識・技能を学ぶだけでなく、地域や保護者の方々と子どもたちが交流を深める貴重な機会にもなりました。

5年生は校区にある田んぼをお借りし、お米作りを体験しました。毎年、お米作りを通して、子どもたちは、季節を感じたり、自然と触れ合ったりするとともに、地域の方々と交流を深めながら、お米作りに取り組む苦労や喜びを知る機会となっていました。しかし、今年度は、その活動も稲刈りと精米だけになってしまい、成長の様子や世話などは写真やビデオを通して学ぶことになりましたが、その後は収穫したお米を自然教室に持っていき、飯盒炊爨で今



年もおいしくいただきました。

地域の方々の協力を受け、伝統工芸万古焼をはじめ様々な地域素材を活用した体験学習を行いました。中でも、「ばんこの里会館」の方にご協力いただき、3年生で万古焼体験、4年生で絵付け体験、6年生で卒業制作（万古焼体験）を行うことができました。また、2年生の校区探検では、地域のいろいろな施設（お店や工場等）を見学させていただき、いろいろなお話を聞かせていただくこともできました。

②保護者・地域住民の意見を反映した学校運営や教育活動

（学校行事の支援～運動会の準備・後片付け～）

今年度の運動会では、児童の熱中症対策及びコロナ感染拡大防止として、児童席に各学年につき二張のテントを設置したため、その準備と片付けに人手が必要となりました。平日ということもありなかなか集まらなかったが、コミュニティスクールの委員さんに声をかけたところ、各自治会にお願いをしてもらい多くの方の協力を得ることができました。

③運営協議会会議運営の工夫

昨年度に発足したコミュニティスクール（CS）の組織づくりと活動方針についての検討を進めました。CSの委員さんが中心となって自ら活動するために、委員さんと教職員全員にアンケートを実施し、意見を集約し、話し合いを重ねて運営の方向性や組織についての共通理解を図ることができました。来年度は、学校・CS・ボランティアが一体となって活動を進めるとともに、振り返りも行つてより充実した活動となるようにしていきます。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は限られた中でも、地域の方々に学習活動・体験活動の支援や学校の環境整備等へのご協力をいただきました。地域の方々との関わりを大切にした体験活動や地域資源を活用した学習は、地域のことを知り、地域に住む方々の思いややさしさに触れ、自分たちの地域を大切にしようとする心を育むことになりました。

今年度はコミュニティスクール2年度ということもあり、運営協議会が中心となつての活動を進めていく予定であったが、コロナ禍による制限のため、協議会の組織の確立や活動内容についての検討を進めました。その結果、地域のボランティア団体との連携や活動計画の作成等ができ、来年度の活動につなげることができました。

また、コミュニティスクール運営協議会は、自治会長・民生委員・学習ボランティア・PTA 役員等11名の委員さんでの構成としました。地域の様子や学校に関わっていただいている方の感想・保護者の思いなど、運営協議会の場では、学校教育活動に対してさまざまなご助言やご提案もいただきました。中でも、防災学習を更に充実させていくためのご意見、子どもたちの自尊感情を高めていくために学校・地域・家庭がどのようなことに気を付けていかなければならないか、また、どんなことができるのか等のご意見など、今後の教育活動に活かしていくべき提言でした。

3 今後に向けて

地域の方々や運営協議会委員さんが参画して、学校の授業やさまざまな活動に支援を

いただいたことは、子どもたちの学力向上だけでなく、思いやりや優しさを育てることにもつながりました。今後も、地域学習や体験学習を更に充実していけるよう、実践を振り返り、活用方法や年間計画を引き継ぎながら、地域・保護者との連携の取り組みを進めていきたいと考えています。

運営協議会の開催に関しては、十分な時間や回数を設定することができなかったが、その中でも、学校教育活動に対してさまざまなご意見をいただくとともに、授業参観や学校公開等の機会を捉えて、学校の現状を把握していただき、年度末には学校関係者評価をいただきました。いただいたご意見やご示唆は、来年度の教育活動に反映する予定です。さらに、より有意義な会議となるように内容や回数などについて検討を加えていきます。



今年度は、コロナ禍という特殊な状況の下での活動となり、地域がいかに学校の教育活動に関わっていくことができるのかについて話し合うこととなりました。この経験を踏まえた上で実現に向かうことが必要と考えます。そして、本年度出されたご助言・ご提案をもとに、今後も、学校づくりビジョンに沿って、地域とともにある学校づくりを目指し、取り組みを進めていきます。

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立橋北小学校

委員長 服部 浩明

校長 長谷 由香

月	協議会の開催	活動内容
4		
5		
6	第1回 CS 運営協議会 25日(木) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none">・校内視察、学校づくりビジョン説明&承認・運営協議会の体制について(意見交換)・年間計画
7		
8		
9	第2回 CS 運営協議会 16日(水) 15:00~16:30	<ul style="list-style-type: none">・運営協議会の活動について (活動案をもとにした意見交換)・情報交流(夏季休業中の姿など)
10		
11	第3回 CS 運営協議会 21日(土) 11:00~12:30	<ul style="list-style-type: none">・運営協議会の組織と活動について (教頭提案・質疑応答)・「防災フェスタ」の感想交流
12		
1		
2	第4回 CS 運営協議会 10日(水) 10:30~12:00	<ul style="list-style-type: none">・学校関係者評価について・来年度の委員委嘱について・運営協議会の組織と活動内容の確認
3		